

# ふじのくに 静岡みなと通信

第28号  
2019.1.23



うしつまいわ  
雲見海岸「牛着岩越しに富士山を望む」(提供: 松崎町)

## ～ 目次 ～

- 静岡みなと通信「第28号」発行に寄せて(松崎町長)..... 1
- 静岡県港湾振興会の活動報告..... 2
- 公民連携による清水港及び周辺の「みなとまちづくり」の取組..... 3
- みなとニュース..... 4
- 港こぼれ話..... 10
- みなと自慢(宇久須港)..... 13
- 港湾関係行事予定..... 15



夕映えに染まる仁科漁港(提供: 西伊豆町)

# 静岡みなと通信「第28号」発行に寄せて



静岡県港湾振興会評議員  
松崎町長 長嶋 精一

松崎港は伊豆西海岸に位置し、昭和27年に地方港湾に指定され、また、平成12年度には特定地域振興重要港湾に選定されました。近海漁業の基地及び砕石供給基地として利用され、長年にわたり、重要な役割を果たしてきました。また、平成4年度から整備してきた松崎新港は、平成22年に埠頭の憩いの空間となる緑地が完成し、物流機能強化・海上交通の拠点・防災港としての役割を目指し全施設の供用を開始することになりました。

近年では、伊豆トレイルジャーニーのスタート、世界ジオパークジオサイトフルーズの拠点づくり、商工会のフリーマーケット、伊豆半島太鼓フェスティバルなど交流・イベントでも

利活用されておりますが、低迷する地域経済の活性化のためにも、釣り公園整備などの商業目的利用が促進されるよう町を挙げて取り組んでいきたいと考えております。

今後も「静岡県港湾振興会」の皆様方との連携を深め、港を核とした拠点づくりによる地域振興を推進したいと考えておりますので、港湾の利用促進に一層のご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



牛原山から松崎旧港(左側)、松崎新港(右側)を望む



松崎新港 伊豆トレイルジャーニーのスタート



松崎港 商工会フリーマーケット

# 静岡県港湾振興会の活動報告

## 日本港湾協会の平成30年度定時総会に出席

定時総会平成30年5月23日(水)、北海道函館市の函館アリーナで日本港湾協会の総会が開催され、当振興会からは柳澤副会長(御前崎市長)をはじめ18名が出席されました。

総会では、港湾功労者表彰式が行われ、静岡県の港湾の振興にご尽力された、大栗 高様、藤浪 哲也様、宮崎 良一様が受賞されました。



定時総会

## 静岡県港湾整備促進大会を開催

平成30年7月19日(木)、清水テルサにおいて、多くの港湾関係者や行政関係者等の御参加をいただき、港湾整備促進大会を開催しました。

田辺会長(静岡市長)のあいさつの後、渥美県会議長、難波静岡県副知事をはじめ来賓の方々からごあいさつをいただきました。

御出席をいただいた小長井富士市長、柳澤御前崎市長、杉本牧之原市長、齊藤熱海市長、影山湖西市長から「地域の声」と題して意見発表をいただき、大会の最後には、「静岡県の港湾整備の促進に関する要望」を満場一致で決議し、関係各方面に対して運動を展開していくこととしました。

また、大会に先立ち、芝浦工業大学 建築学部建築学科 前田英寿教授を講師にお迎えし、「連携による開かれたまちづくり」と題して、御講演をいただきました。



田辺会長(静岡市長)あいさつ



小長井副会長(富士市長)による決議文の読み上げ



講演会の様子

## 経済と暮らしを支える港づくり全国大会に参加

平成30年10月25日(木)、東京の砂防会館において、日本港湾協会、全国港湾知事協議会、全国市長会港湾都市協議会、日本港湾振興団体連合会、港湾海岸防災協議会の港湾関係5団体による実行委員会が主催する、「経済と暮らしを支える港づくり全国大会」が開催されました。

当振興会からは柳澤副会長(御前崎市長)、杉本副会長(牧之原市長)、齊藤熱海市長をはじめ31名が出席されました。

大会では、来賓として多数の国会議員をお招きし、各地区の港湾所在市町村長の代表による港湾整備・振興に関する意見表明、港湾整備の推進に向けた決議が行われました。

大会に先立ち、ホテルグランドアーク半蔵門で東海地区港湾協議会主催による国会議員との懇談会が行われ、御出席をいただいた市町村の代表が意見発表・要望を行い、港湾整備への支援を訴えました。

大会終了後は、県内選出の国会議員へ要望活動を行いました。



経済と暮らしを支える港づくり全国大会の様子

# 公民連携による清水港及び周辺の「みなとまちづくり」の取組

静岡県港湾企画課

## 清水みなとまちづくり公民連携協議会

清水港及び周辺では、近年、官・民による様々な開発構想が複数示されています。しかし、それらの計画や構想は、それぞれの主体が個別に検討したものであり、必ずしも同じベクトルに向けて描かれたものではありません。そのため、清水港及び周辺地域が全体として目指すべき共通の将来像（グランドデザイン）と、その推進組織（公民連携協議会）の必要性が高まっていました。

「清水みなとまちづくり公民連携協議会」は、清水港及び周辺のグランドデザインを公民連携により描き、推進していくことを目的に設立された任意団体です。静岡県、静岡市、港湾関係の第3セクター、民間企業の計8者が集まって、2018年4月から活動を始めています。

### 清水みなとまちづくり公民連携協議会 組織構成

静岡県	静岡市	清水港振興(株)	清水埠頭(株)
静岡銀行	清水銀行	静岡鉄道(株)	鈴与(株)

会長：芝浦工業大学建築学部建築学科 前田英寿 教授

#### 【事務局の体制】

清水港振興(株)、静岡県、静岡市から各1名、事務員1名の4名が常駐  
 (所在地：静岡市清水区日の出町10-80 清水マリンターミナル3階)

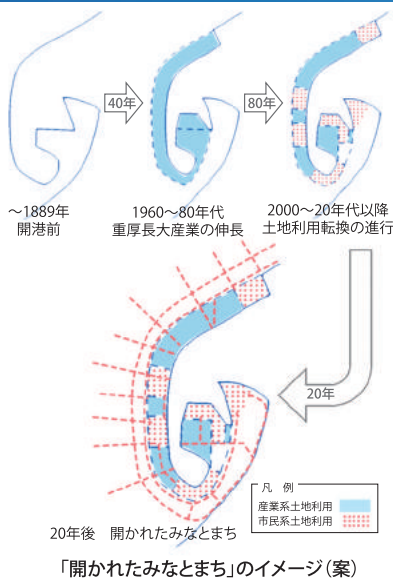


協議会による視察の様子(柏の葉にて。中央が前田英寿会長)

### 清水みなとまちづくり公民連携協議会の活動内容

- (1) 清水港及び周辺地域全体の目指す姿(グランドデザイン)の検討・提案に関すること
- (2) グランドデザイン実現に向けた沿岸部各地区の実行プランの作成に関すること
- (3) 清水港及び周辺地域全体のマーケティング、ブランディングに関すること

## 清水みなとまちづくりグランドデザイン



清水港及び周辺の概ね20年後を想定し、「みなと」と「まち」を一つの資産として最大限に活かすための「あるべき姿(将来像)」とそのために「なすべきこと(実行プラン)」を検討しています。

近年、清水港周辺では中部横断自動車道や新東名高速道路の整備、コンテナターミナルの整備、国際旅客船寄港数の増加など周辺の物流人流が充実する一方で、人口減少や産業の空洞化など社会的、経済的な地盤沈下も見られる中、臨港地区と後背市街地の市民利用・商業利用も進んでいます。港をめぐる諸環境が変化しながらも港湾としての活力がある今、20年後という現実的な将来に向けてグランドデザインを策定します。策定に当たっては、産業と市民が共存し、港湾と都市が融合する「開かれたみなとまち」を描いていきます。

本グランドデザインは、2018年度内に策定し、その後も継続的に管理・運用していく予定です。「みなと」と「まち」をつなげ、実現可能でわくわくする未来を描くことによって、公共事業の効果を最大限に生かすと同時に、民間投資を促し、清水港及び周辺の価値のさらなる向上を目指します。

上記の詳細や、協議会の活動、グランドデザインの検討状況等は、協議会のホームページにて公表しています。ぜひご覧ください。

URL : <https://spcdc.myportfolio.com/>





# みなとニュース



## 官民連携で、**みなと** × **まち** のプロデュース —沼津港の観光バス運用方法が新しくなりました—

静岡県港湾企画課

沼津港では平成27年に策定した『沼津港みなとまちづくり推進計画』の実現に向け、官民が連携した活動を推進しています。

年間150万人以上が訪れ、年々賑わいを増している沼津港。“みなとまちづくり”を確実に推進し、来訪客の満足度を高めるために「今すぐ、やっておくべき対策」として、昨年度、県、沼津市、NPO法人沼津観光協会が連携して観光バスの受入態勢を強化する「ショットガン方式」による実証実験を行い、平成30年4月より、地元が中心となった新たな観光バス運用方法に移行しました。

従来は、NPO法人沼津観光協会が内港北側のスペースで観光バスの予約を受け付けて運用していましたが、予約台数(最大7台)に限りがあり、休日などのピーク時には予約を断っている状況でした。しかし、新方式に移行した4月以降、1日最大33台の観光バスを受け入れるなど、観光バスの受入台数は増加しており、順調な運用ができています。

今後は、新方式の運用状況を踏まえつつ、観光バスやタクシーの乗降場を併設した多目的広場として整備していく予定です。



内港地区 乗降場

### “ショットガン方式”のイメージ

“ショットガン方式”は、施設周辺の駐停車場を乗降のみに利用し、近隣駐停車場に適切に誘導することにより、駐停車場の回転率を高め、乗客の乗降等により発生している混雑や駐停車場不足の解消を目的としたものです。



専用乗降場所でお客を降ろし  
【内港地区 乗降場】

↓ すみやかに移動

近隣のバス駐停車場に移動して待機  
【外港地区 観光バス待機場】

↓ 時間がきたら

専用乗降場所でお客を乗せて  
【内港地区 乗降場】

↓ 次目的地へ

## 焼津漁港管理事務所と水産技術研究所の合同庁舎の開所式

静岡県港湾企画課

平成30年4月 県水産技術研究所と県焼津漁港管理事務所は、焼津漁港 新港地区(焼津市鯛ヶ島(いわしがしま))に新築移転し、併設する展示室の準備が整った5月8日(火)に開所式が行なわれました。

新庁舎は鉄筋コンクリート造一部4階建て(延べ床面積約3千平方メートル)であり、同所の津波浸水深は最大3.3m(L2)が想定されることから、2階事務室の床面の高さを6mに高上げするとともに、非常用発電機を4階に設置し、津波到来後も電力供給が可能な「耐震性・耐浪性」を備えた施設として設計されております。

また、一時津波避難施設の指定を受けた庁舎は、屋上に一般の方も受入れ可能な避難スペースも確保しました。

同研究所の「学習・交流機能」としての1階展示室(うみしる)は、土・日曜日や祝日(年末年始を除く。)も一般開放し、「ジオラマ」に映像照射する「ジオラママッピング」による水産業の紹介や「30t水槽」など大小の水槽に駿河湾や近海に生息する生物を展示しております。

焼津漁港管理事務所は、新庁舎を焼津漁港の拠点として、焼津市の益々の発展・活性化を目指します。



「うみしる」大水槽



新庁舎外観

## 清水港 海と光の空間 ～Sea Light Harbor～

株式会社ドリームプラザ

清水港日の出地区にあるエスパルスドリームプラザ海側デッキでは、平成30年11月17日(土)からイルミネーションによるライトアップがスタートしています。ライトアップされた国登録有形文化財「清水港テルファー」は幻想的に、そして雪の結晶をイメージしたスノードームは華やかに清水港日の出エリアを彩ります。

今年は新たに東海地区最大級の「イルミネーション迷路」を設置いたしました。見るだけでなく、大人も子供も参加して楽しめるイルミネーションです。平成31年2月28日(木)まで開催していますのでご家族揃ってお立ち寄り下さい。

<点灯時間>16:00～24:00 音と光の演出は21:00まで



新たに東海地区最大級のイルミネーション迷路が登場



「清水港 海と光の空間」がコンセプトのイルミネーション

## 「清水港開港120周年記念事業を実施します」

静岡県港湾振興課

清水港は2019年8月4日(日)に開港120周年を迎えます。開港120周年の節目の年を、県民の皆さまとお祝いし、これまでの清水港の歩みを振り返るとともに、清水港のさらなる発展のスタートとするため、2019年度に様々な記念事業を展開していきます。現在、県・市・民間団体から組織される実行委員会において、事業計画等が議論され、実施に向けての準備が進められているところです。また、本年度においても120周年イベントとして、8月に折戸湾で体験型環境学習を実施し、小学生から中学生が折戸湾の生態系について学習するなど開港120周年への機運醸成を図っています。

今後、清水港開港120周年記念事業に関する詳細については、皆様へ順次、お知らせして参ります。皆様の御参加をお待ちしています。



清水から、  
つながる未来、  
広がる世界。

## 「清水港日の出岸壁改良工事着工式典とクルーズセミナーを開催しました」

静岡県港湾振興課

国土交通省中部地方整備局、静岡県、静岡市は平成30年10月7日(日)に清水港日の出岸壁において、清水港日の出岸壁改良工事着工式典を開催しました。岸壁改良工事により、日の出岸壁の更なる長期的利用や大型客船の2隻同時受入等、客船の受入拠点としての対応力向上が期待されます。

また、清水マリナーミナルでは同日、清水港客船誘致委員会が「クルーズセミナー in 清水」を開催し、100名を越える参加者がクルーズ旅行の魅力に触れました。



着工式典参加者による鉄入れ



クルーズセミナーの様子

## ～祝 焼津市・大井川町合併10周年～ 第31回大井川港釣り大会

焼津市建設部大井川港管理事務所

平成30年10月14日(日)、焼津市大井川港内北岸壁と東岸壁において「第31回大井川港釣り大会」が開催されました。

当日は早朝6時に集合し、あいにくの雨の振る中での準備作業となりました。この大井川港の釣り大会は、焼津市と大井川町が合併する前の旧大井川町時代から実施されている催し物で、回を重ねて今回が第31回、しかも「祝 焼津市・大井川町合併10周年」と冠タイトルも付きました。今年の大会には県外からの申込みもあり、昨年を上回る295人の太公望が集まり、キッズ部門、一般部門に分かれて大会は午前8時から始まりました。

大会開始の時間には雨も小雨となり、時折雲の合間から陽が射すこともあり、10時30分までの競技時間の中では、あちらこちらで笑い声や歓声が聞こえていました。競技終了後には毎年恒例の小学生以下の参加者を対象とした「ウナギつかみ取り」を実施し、子供たちが大はしゃぎでウナギと格闘し、捕まえたウナギは加工業者さんがその場で手際よく捌く様子にも注目が集まりました。いつもなら12時で終了する大会も今年は時間を15時まで延長して、競技終了後も大井川港で楽しめるように、ステージイベントやフリーマーケットも同時開催されました。ステージイベントでは、ご当地キャラの魚レンジャー(※ぎょレンジャー)がステージを盛り上げ、キッズダンスやよさこい踊りも披露されました。

また、人気の釣り教室や今回初めての試みとし「YouTuber 六畳一間の狼」と焼津の釣りガール「三浦 愛」さんによるトークショーも行なわれました。当日の大会では準備時点では雨が降っていたものの次第に雨も上がり日中には太陽も顔を出してくれました。

最後に多数の高校生ボランティアを始め多くの関係者の皆様のお陰で無事大会を終了できたこと、そして何より日常業務の場所をご提供して頂いた港湾関係業者さんに感謝を申し上げます。



キッズ太公望



ウナギつかみ取り



三浦 愛さんと六畳一間の狼とのトークショー

## 清水港「みなとオアシス」認定

静岡県港湾振興課

平成30年6月15日(金)、清水港江尻地区にある魚市場「河岸の市」やJR清水駅東口広場が、国土交通省が指定する「みなとオアシス」に全国111番目の港、“みなとオアシスマぐろのまち清水”として登録されました。

「みなとオアシス」は、観光などによる地域の活性化を目指し、港を核としたまちづくりを推進するために平成15年にできた制度です。県内では沼津、大井川、御前崎の登録に続いて4例目になります。

今後は、冷凍マグロ取扱量日本一の清水港を、マグロをテーマに強力にアピールすることで、観光交流人口の増加が期待されます。



認定証交付式の様子



田辺静岡市長(左) 菊地港湾局長(当時)(右)

## 台風被害による影響を、応急工事により最小限に!

静岡県港湾整備課

平成30年に発生した台風12号と24号の異常気象により、県内2港湾3箇所では港湾施設が被災しました。平成30年7月28日(土)午後から29日(日)未明にかけ、伊豆半島沖を強い勢力を保ったまま、東から西に異例のコースを進んだ台風12号の高潮・波浪により、熱海港の和田浜南町の護岸や臨港道路が被災するとともに、隣接する防波堤の海釣り関連施設も被災し、夏休みで賑わっていた施設の利用ができなくなりました。

そこで、県・市・施設管理者間で調整し、速やかに応急工事を実施したことで、8月11日(土)から海釣り施設の利用を再開することができました。

また、9月30日(日)から10月1日(月)にかけ、静岡県に接近した台風24号の波浪により、田子の浦港の航路に土砂が埋塞したことから、船舶の航行に支障をきたす事態となってしまいました。

そこで、応急本工事により、速やかに埋塞土砂の撤去に着手し、10月22日(月)・23日(火)の災害査定を経て、11月5日(月)に埋塞土砂の浚渫が完了しました。



熱海港の被災状況



## 新興津リーファーコンテナ電源供給設備の完成記念式典を開催

静岡県港湾振興課

平成30年8月19日(日)、清水港新興津コンテナターミナルで、今後の農産品等の輸出拡大を視野に国庫補助を活用して整備したリーファーコンテナ電源供給設備の完成記念式典が、事業主体の清水コンテナターミナル(株)の主催で開催され、望月義夫衆議院議員や国土交通省の下司弘之港湾局長、本県の難波喬司副知事ほか、港湾関係者約60名程度が参加しました。

完成した設備の電源起動のほか、(株)デンソーの開発した高規格リーファーコンテナの紹介、新興津コンテナターミナルの設備のお披露目などが行われました。



望月衆議院議員挨拶



くす玉割り



難波副知事挨拶

## 南極観測船「しらせ」一般公開

静岡県港湾振興課

平成30年8月24日(金)～27日(月)にかけて、南極観測船「しらせ」が18年ぶりに清水港に寄港しました。南極観測船「しらせ」は、文部科学省国立極地研究所の南極地域観測隊の輸送・研究任務のために建造された南極観測船です。

25日(土)、26日(日)は一般公開され、合計約1万5千人の見学者が訪れ、南極から持ち帰った氷に触れたり、船内の装備や甲板からの景色を写真に収めるなど、夏休みの楽しい思い出になるとともに、極地研究の実態を学びました。

同日に、しらせの寄港を記念した関連イベント「清水海洋展」(静岡市主催)も開催され、南極と北極で調査を行っている研究機関の活動紹介ブースや、極地の温度を体感できる装置などが展示されました。



南極観測船「しらせ」と富士山

南極観測船「しらせ」  
 全長:138m  
 全幅:28m  
 速力:19ノット  
 乗員:約175名  
 船籍:日本  
 基準排水量:12,500トン



一般公開で賑わう日の出埠頭



歓迎式典

## 静岡県港湾振興会の県外港湾視察研修

静岡県港湾振興会では、平成30年11月20日(火)～22日(木)の3日間、会員団体等から18名が参加し、宮城県仙台塩釜港(仙台区・石巻港区)、岩手県の釜石港の視察研修を実施しました。

仙台区では、仙台港全景を見学した後、高砂コンテナターミナル屋上にて概要説明を受けました。国内でも珍しい「津波漂流物対策施設」が臨港道路の中央分離帯に設置されており、5.1kmの内、2.9kmが完了しているとの説明がありました。

2日目の石巻港区では、港内を展望後、東浜防潮堤を視察しました。防潮堤整備には、景観の問題等があるため住民との意見調整に大変苦労された話が印象に残りました。明るい話題としては、クルーズ船の寄港数が、今年度は6隻、東京オリンピックが開催される2020年には、9隻を予定しており、大型外航クルーズ船の受入体制を強化しています。



石巻港サイロ展望台からの眺め



東浜防潮堤(仙台塩釜港石巻港区)にて概要説明



水門・陸閘自動閉鎖システム(釜石港)



高砂コンテナターミナル



津波漂流物対策施設(仙台塩釜港仙台区)

最終日の釜石港では、世界最大水深(63m)の湾口防波堤、水門・陸閘自動閉鎖システム等を視察しました。

湾口防波堤は、津波被害から生命・財産等を守るとともに、港内静穏度の向上、船舶の避難場所確保による沖合航行船舶の海難事故防止を図ることを目的に、昭和53年度から建設を開始し、平成20年度に完成しました。3年後、東日本大震災津波により、南堤は670mの内約300mを残し倒壊、北堤は990mの内約120mを残し倒壊、開口部(潜堤)300mは、ほぼ全域倒壊しましたが、平成30年3月31日に復旧は完了しました。

各視察先で、東日本大震災からの復旧・復興の説明を受けましたが、震災から7年が経ち、完成はまだ半分との話もあり、改めて被害の大きさを痛感しました。

担当者からの丁寧な概要説明をいただき大変有意義な研修となりました。



船上視察後、釜石港湾口防波堤に上陸

# ～港こぼれ話～

## ヘドロと過ごした3年間

元静岡県交通基盤部焼津漁港管理事務所整備課長  
元静岡県土木部御前崎土木事務所港湾課主幹  
竹内 裕雄



1.昭和45年4月 さあ社会人だ。

町は静岡まつりの飾付もされて何か華やいだ雰囲気の中、県庁で行われる入庁式に臨みました。式も無事終了して配属先の田子の浦港管理事務所から来た迎いの車に乗り事務所に向かいました。

県庁での出来事は覚えているのですが、事務所へ到着してからのことはあまり記憶になく、人事異動で転入した方と私を含めた5,6名で昼食の寿司をご馳走になったことだけは何故かはっきりと覚えています。高等学校を卒業した私の社会人生活はこのような感じでスタートしました。

2.何だ!? この海の色は

事務所での第1日目には緊張していたからなのかあまり気にならなかったのですが、新規採用時の研修までの数日の間に何か変な臭いがすると思いつながら先輩諸氏から頼まれた仕事をしていました。仕事といっても書類のコピーや図面の色塗り等でしたが。

研修も終了して周囲の状況も徐々に分かってきました。港の事務所だから潮の香りがしたり、キラキラ輝く海面が…全く感じられません。

海面はコーヒ色、ブクブクと泡が出ています。特に干潮時には所々で沸騰でもしたかのように泡立ち、その後ブヨブヨしたものが浮き上がってきます。

海底にたまったヘドロの一部が浮き上がったものでした。ある時事務所で「何だか喉が詰まるようで変な感じがする。」と言ったら「ああ、それってみんな最初なるから。その内慣れて治るから。」…そんなもんか。妙に納得。

またこんなこともありました、朝に真新しい十円玉を窓の外に出して置き、夕方それを見ると黒く変色しているという有様でした。

この頃から「田子の浦港ヘドロ公害」としてマスコミ



昭和40年代中頃(約50年前)の田子の浦港

で大々的に取り上げられるようになったように記憶しています。確かこの年の夏だったと思いますが、多数の漁船が旗をなびかせながら海上をデモしたり、広場で集会をしたり大変な騒ぎでした。現在は、多くの方々の努力や支援があり、きれいな港に生まれ変わりましたが、当時は、大変な職場に来てしまったというのが偽らざる思いでした。

3.当時の仕事内容

まず、港内数か所にある観測地点で悪臭のもとである硫化水素濃度測定。検知管式気体測定器を使用するのですが、この程度の臭いであれば何ppmとか大体分かるようになってしまいました。また、音響測深機を使用して深浅測量も行いました。もちろん解析も行い、港内航路・泊地の簡単な等深線図も作成するのですが、測量を重ねるたびに浅くなっていくのが分かり、未熟な私にも事の重大さが理解できました。

また、ヘドロ処理に向けての実験等も手伝いました。少量のヘドロ採取の場合はエグマンバージ式グラブ採泥器というもので岸壁や船に乗って採取しました。

#### 4. あんたは公害関係の人かね

当初ヘドロ処理は外洋投棄を予定していましたが出来なくなり、最終的には富士川河川敷に処理することになりました。今思えば大変な苦勞の末の決定事項だったと思いますが、当時の私には「ああ、そうなんだ。」位にしに感じられませんでした。

そんな中、吉原ふ頭に鉄製の円形のマスを作り、その中に富士川の砂利(だと思いますが)を入れ、その上に薬品処理したヘドロを投入し処理方法の検討を行いました。海水とヘドロの混合したものがどの位沈下するかとか、マスの底から採取した海水の濁り状況等を観察していたように記憶しています。この作業は業者の建設作業員と私の3名位で携っていたのですがある時、硫化水素濃度の測定やヘドロ処理実験の手伝いをしている私に向かって「あんたは公害関係の人かね。」言われてしまい、「違う、違う、オレ管理事務所の工務課の技術屋。」こんな会話をしたこともありました。

たまには先輩職員の現場の立会にも行ったりしましたが、建設現場とは縁のない仕事の連続で、臭くてどのような有害物質が含まれているのか訳の分からないヘドロとのお付き合いばかりでした。仕事への意欲も徐々に薄れていきました。毎日言われた仕事をダラダラとこなしているだけだったように記憶しています。

#### 5. ヘドロ処理始まる

嫌な仕事も2年目に入り昭和46年度からヘドロ処理も始まりました。港で浚渫したヘドロを船に乗せて富士川河口沖まで運搬し、そこから処理地までパイプ圧送したと思います。このあたりのシステムはあまりよく分かりません。何といても仕事の意欲もなく、ダラダラ、ポーっとしているのですから。

私は相変わらず1年目と同じようなことをしていたように記憶しています。同期に入庁した人たちは、設計書の作成や現場対応も随分覚えただろうなと焦りを感じる事もありました。

最初のヘドロ処理も何とか終了し、次はポンプ式浚渫船で浚渫したヘドロを直接処理地まで送るという計画でした。使用するのは6000HP級の浚渫船だったと記憶します。処理地まで6kmの距離を運搬するには、このような大馬力の浚渫船が必要とのことでした。後年、私

も漁港事業でポンプ式浚渫船による浚渫工事を担当したことがあります。その時は2000HP級でしたので随分大きな浚渫船だったと思います。

詳しい経緯は分かりませんが、ポンプ式浚渫船による処理の準備のため富士川左岸堤防横の空き地に現場事務所が建てられました。ただしエアコンも無いプレハブ小屋でした。昭和47年度が始まる少し前の3月頃だったと思います。事務所からは工務課長、主任、そして私が行くこととなりました。その後、県庁港湾課と清水港管理事務所からの応援職員を含め10名位で現場での対応をしていったと記憶しています。

処理地では多数の建設機械がヘドロ処理のための沈殿池を作っています。池の寸法や数は忘れてしまいましたが、かなり大きな築堤式の池が4つあったかどうかです。池も完成してよいよヘドロ処理のスタートです。勢いよくヘドロが排砂管から出てきます。池の手前で薬品と混合するため臭いも少しはましになっています。ここでも硫化水素濃度の測定や、周辺の地下水に異常がないか確認するため工場等で使用している地下水を採取したりして忙しい毎日が続いていました。

特に記憶にあるのは、処理しているヘドロの濃度を調べる為、乾燥機で乾燥させたヘドロの重量を測定する作業です。夏場は大変でした。熱いオーブンが自分の席の横にある状態ですから。やはり臭いもあります。所用で事務所に出かけた時には、嘘か真か女性職員から「ねえ、あんたっち臭いよ。」なんて言われたこともありました。

ヘドロ処理が一段落するまでの半年位は、現場事務



浚渫土砂の処理状況

所に常駐した(ヘドロ処理の最前線にいた)ことや、清水港管理事務所からの応援職員2名が高校の先輩で年齢も近かったからか、日ごろの仕事への不満も少しは和らいだようにも思えました。それとともに、あと数か月我慢すればどこかもっと良いところに転勤できるのではと勝手に思っていたからかもしれません。次の転勤先の静岡土木事務所蓑科支所で未曾有の大災害である昭和49年の七夕豪雨に見舞われるなんて夢にも思わないノーマジな私でした。

#### 6. こんなこともありました

怪獣映画にヘドロ怪獣が登場しました。ヘドロに振り回されていた私には、「なんだよー。ふざけやがって。」映画の題名は「ゴジラ対ヘドラ」でした。今思えば、ゴジラは核実験による突然変異で生まれ、ヘドラは公害で生まれて、それぞれが人間の身勝手から生まれた犠牲者だと思うと…なんだかなあ…です。

また、いつのことか思い出せませんが、吉原ふ頭で作業をしていると、対岸の富士ふ頭に護衛艦のような船が接岸していて甲板では大勢の乗組員が手を振っています。船尾には韓国の国旗が見えます。よく見ると手を振っている乗組員は自分と同年代に見えます。韓国海軍の練習生がだれかに手を振っているのかと思いましたが、吉原ふ頭には私以外にあまり人影はありません。オレにかよ。私の手もいつの間にか彼らに向かって手を振っていました。彼らの手の振りが一段と大きくなったように見えました。青い空とコーヒー色の海、グレーの船体、白い制服の若者たち…彼らも今はいいおじいちゃんでしょう。



改良土砂処分地の活用

#### 7. 終わりに

42年間の現役公務員生活の内、港湾関係通算19年、漁港関係通算17年の合計36年間にわたり塩水関係の仕事に携わってきました。

多分、スタートが港の事務所という事からこのような結果になったのではと思っています。

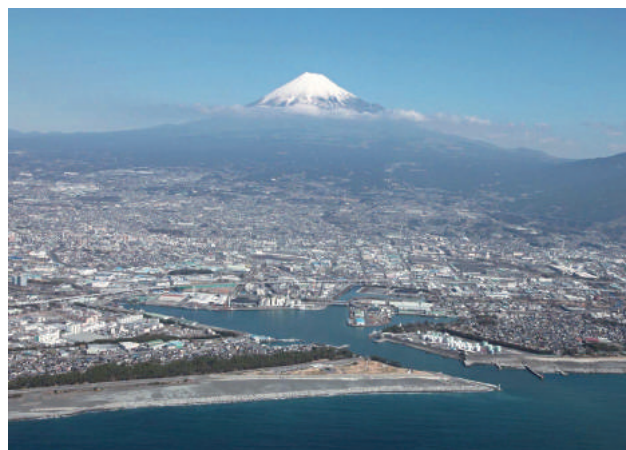
今回の執筆にあたり、色々記憶の糸を手繰ってはみたものの、あることはしっかりと覚えていても、別のことはすっかり忘れてしまったという状態でした。そんなことで時系列が違っているかもしれません。

さて、ここに記述されているように就職したての自分は、毎日をガラガラ、ポーッと過ごしている状態でした。今の若手職員のように公務員としての自覚や志もはっきりしているわけでもなく、お恥ずかしい次第です。時には飲みすぎて帰りの電車の中でリバースなんてことも。

ろくな仕事もできないくせに、不満だけは人一倍のどうしようもない私でした。事務所の皆様や県庁港湾課の皆様が堪忍袋の緒も切らさないで温かく見守ってくださったおかげで、その後の転勤先で自分の現場をまとめ上げる面白さを知り色々な経験を部下に伝えたり、国の職員とも堂々と話が出来たりと、定年まで大きな問題もなく(と思っていますが。)過ごすことができました。本当にありがとうございました。

今思えば、あいつにやらせる仕事はヘドロくらいしかないだろうということだったのかもしれない。

ということは、ヘドロのおかげで公務員をやったのかな。そうであるのなら、ほんの少しだけありがとうヘドロ。



現在の田子の浦港

# みなと“白慢”

西伊豆町産業建設課

～ふるさとと言いたくなる夕陽のまち～

西伊豆町は、静岡県東部の伊豆半島の西海岸の中央に位置し、西側は駿河湾に、東側は急峻な山並みの天城山系が連なり、北と南にその支脈が海岸まで迫っています。

北は伊豆市、南は松崎町、東は河津町に接し、東西約12.5km、南北約12kmで面積は105.54km<sup>2</sup>となっており、美しい夕陽を鑑賞することができる海岸線は富士箱根伊豆国立公園及び名勝伊豆西南海岸に指定されています。

西伊豆町では平成17年に「夕陽日本一宣言」を行い、日本の夕陽百選に指定されている大田子海岸をはじめ、堂ヶ島・黄金崎などの数多くの夕陽スポットを有し、空と海、奇岩群や漁船が夕景と交わる光景は格別の美しさを魅せます。



夕陽を浴びて岩肌が黄金色に輝く黄金崎

## 1.伊豆半島ジオパーク 堂ヶ島

伊豆半島は平成30年4月17日(火)に国連教育科学文化機関(ユネスコ)から国内9地域目の「世界ジオパーク」に認定されました。

堂ヶ島周辺の海岸線は、世界的に見ても稀な海底火山の美しく多様な地層断面が観察できるポイントであり、「青の洞窟」を彷彿させる国指定天然記念物の「天窓洞」や、トンボロ(陸繋島)で有名な三四郎島のほか、奇岩が点在するジオサイトの宝庫として知られています。



神秘的な雰囲気味わえる天窓洞



干潮時に歩いて渡ることができる三四郎島



日本の夕陽百選指定の「大田子海岸夕景」

## 2. 西伊豆しおかつうどん

西伊豆町田子は、その昔カツオ漁で栄えた漁師町であり、今もなお昔ながらの製法で作られる「しおかつお」は、カツオを丸ごと塩に漬け込み、乾燥させて作られる、町の伝統保存食品です。

この「しおかつお」を誰でも手軽に食べられるようにと、しおかつおをふりかけ状にして茹でたうどんにかけ、ネギ、ゴマ、温泉卵などをのせ、だし醤油で食べる「しおかつおうどん」が考案され、町内の飲食店で提供されています。

西伊豆しおかつおは、ご当地グルメとしてB-1グランプリにも参加しており「2017年 東海・北陸B-1グランプリin 富士」では、強敵、富士宮やきそばを抑えて、最優秀賞のゴールドグランプリを受賞するなど、食をつうじて地域活性化の一端を担っています。



ご当地グルメ「しおかつおうどん」



冬の風物詩「しおかつおの陰干」

## 3. 西伊豆特産ヤリイカ

西伊豆町仁科漁港に水揚げされるヤリイカは静岡県内1位の水揚げを誇り、静岡県が認定する「しずおか食セレクション」に選ばれました。

ヤリイカは肉厚で独特の甘みがある冬場の高級イカとして知られています。

これから旬を迎える西伊豆町自慢の「ヤリイカ」を味わいに、是非、西伊豆町へお越しください。



しずおか食セレクション認定の「仁科のヤリイカ」

# 港湾関係行事予定

(2019年2月1日～2020年1月31日)

日程	内容	日程	内容
毎年 1月1日～3月31日	牡蠣小屋(湖西市 海湖館)	8月1日(木)～8月4日(日)	あたまビールまつり(熱海市 渚親水公園)
毎月第1土曜日	海湖館朝市(湖西市)	8月1日(木)	宇佐美夏祭り打上花火(伊東市 宇佐美海岸)
2月2日(土)	おいしい舞版まるごと体験フェア (浜松市 浜名湖ガーデンパーク)	8月1日(木)	客船「マースダム」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
2月13日(水)	客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月3日(土)	御前崎みなと夏祭2019(御前崎市 マリンパーク御前崎)
2月16日(土)・2月17日(日)	網代温泉ひもの祭り(熱海市 長浜海浜公園)	8月4日(日)	第72回初島・熱海間団体競泳大会(熱海市 熱海湾)
2月23日(土)・2月24日(日)	第34回伊豆多賀わかめまつり(熱海市 長浜海浜公園)	8月4日(日)	清水港開港120周年記念式典(静岡市 清水港)
3月3日(日)	田子浦みなとマラソン大会 (富士市 ふじのくに田子の浦みなと公園)	8月8日(木)	弓ヶ浜花火大会(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
3月26日(火)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月8日(木)	「灯籠の流れ」打上花火(伊東市 伊東海岸)
3月27日(水)	客船「ばしふいっく びいなす」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月9日(金)	「太鼓の響き」打上花火(伊東市 伊東海岸)
3月28日(木)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月10日(土)	さから海上花火大会(牧之原市 さからサンビーチ 相良港)
3月31日(日)・4月20日(土)・5月11日(土) 5月26日(日)・6月16日(日)・6月29日(土)	春季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)	8月10日(土)	按針祭の花火大会(伊東市 伊東海岸)
4月1日(月)～2020年3月31日(火)	清水港開港120周年記念事業(静岡市 清水港 日の出埠頭ほか)	8月12日(月・祝)	伊豆多賀海上花火大会&ビールフェスタ(熱海市 多賀湾)
4月11日(木)	客船「セブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月14日(水)	やんもの里花火大会(伊東市 八幡野港)
4月13日(土)	伊東水産祭り(伊東市 いたう漁協内)	8月14日(水)・8月15日(木)	安良里夏祭り(西伊豆町 安良里港) 14日花火大会
4月13日(土)	客船「セブンス・マリナー」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月14日(水)	焼津海上花火大会(焼津市 焼津港外港)
4月14日(日)	客船「セブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月15日(木)	川奈港いるか浜花火大会(伊東市 いるか浜)
4月14日(日) 予定	焼津みなとまつり(焼津市 焼津港内港)	8月15日(木)	田子港祭り(西伊豆町 田子港) 15日花火大会
4月15日(月)	客船「ウエステルダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月15日(木)	客船「マースダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
4月15日(月)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月16日(金)	伊豆多賀温泉百八体流灯祭&ビールフェスタ(熱海市 多賀湾)
4月17日(水)	客船「スター・レジェンド」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月16日(金)	網代温泉海上花火大会(熱海市 網代湾)
4月20日(土)・4月21日(日)	御前崎シーサイドピクニック(御前崎市 マリンパーク御前崎)	8月18日(日) 予定～8月20日(火) 予定	土肥サマーフェスティバル(伊豆市 土肥港湾内)
4月20日(土)・5月18日(土)・ 6月15日(土)・7月20日(土)	えんばい朝市(浜松市 舞阪漁港)	8月20日(火)	客船「ばしふいっく びいなす」初寄港 (御前崎市・牧之原市 御前崎港)
4月26日(金)	客船「セブンス・マリナー」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月22日(木)	伊東温泉まつり花火大会(伊東市 伊東海岸)
4月26日(金)	客船「アザマラ・クエスト」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	8月22日(木)	客船「マジスティック・プリンセス」初寄港 (静岡市 清水港 日の出埠頭)
4月26日(金)	客船「ノルウェー・ジュエル」寄港(静岡市 清水港)	8月25日(日)～8月27日(火)	伊豆山温泉さざえ祭り&第69回納涼海上花火大会 (熱海市 伊豆山浜特設会場/伊豆山港)
4月28日(日)	第43回さから草競馬大会 (牧之原市 さからサンビーチ 相良港)	8月31日(土)	【閉場式】静波海水浴場・さからサンビーチ (牧之原市 榛原港・相良港)
4月29日(月・祝)	大井川港朝市(焼津市 大井川港)	8月下旬	弓ヶ浜ビーチパレードフェスタ(南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
4月 予定	ポータウンパーティ(沼津市 沼津港)	8月 予定	沼津千本浜トライアスロン大会(沼津市 千本浜)
4月 予定	沼津みなと新鮮館周年祭(沼津市 沼津港)	9月2日(月)	客船「アザマラ・クエスト」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月1日(水・祝)～5月5日(日・祝)	第44回初島ところ天まつり(熱海市 初島港特設会場)	9月7日(土)・9月8日(日)	ビックシャワー海洋浴の祭典(下田市 吉佐美大浜海岸)
5月2日(木・祝)・5月3日(金・祝)	客船「バイキング・オリオン」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	9月8日(日)・9月9日(月)	客船「バイキング・オリオン」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月3日(金・祝)～5月5日(日・祝)	なぶら祭り(御前崎市 海鮮なぶら市場)	9月16日(月・祝)	客船「アザマラ・クエスト」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月5日(日・祝)～6月30日(日)	地引網体験(伊東市 伊東海岸) ※毎週日曜日のみ	9月16日(月・祝)	秋季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
5月6日(月・祝)	客船「オイローバ2」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	9月下旬	弓ヶ浜国際オープンウォータースイム (南伊豆町 弓ヶ浜海岸)
5月10日(金)	客船「アザマラ・クエスト」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	9月下旬～10月上旬頃	大井川港釣り大会(焼津市 大井川港)
5月上旬	御前崎灯台まつり(御前崎市 御前崎灯台)	9月下旬～10月上旬頃	オータムフェスティバル2019(焼津市 焼津港内港)
5月17日(金)～5月19日(日)	第80回黒船祭(下田市市内各会場)	9月 予定	中日本ライフセービング大会(牧之原市 静波海岸 榛原港)
5月18日(土)	客船「にっぽん丸」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	10月3日(木)	客船「セブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月19日(日) 予定	清水港フラワーフェスタ2019(静岡市 清水 マリンパーク)	10月8日(火)	客船「ル・ラベルズ」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月21日(火)	客船「にっぽん丸」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	10月13日(日)	清水港マグロまつり2019(静岡市 清水港)
5月23日(木)	客船「飛鳥II」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	10月14日(月・祝)	客船「ウエステルダム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月25日(土)	第9回 御前崎みなとかつお祭り(御前崎市 御前崎魚市場)	10月20日(日)	客船「シルバー・ミュージ」初寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月 予定	静岡SURF Carnival 2019 in さから (牧之原市 さからサンビーチ 相良港)	10月20日(日) 予定	第19回清水港興津フェア (静岡市 清水区 興津国際流通センター周辺ほか)
5月 予定	沼津水産祭(沼津市 沼津港)	10月29日(火)・10月30日(水)	客船「バイキング・オリオン」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
5月 予定	ぬまづ港の街BAR(沼津市 沼津港ほか)	10月下旬頃	小川港さば祭り(焼津市 小川港)
6月11日(火)	客船「ばしふいっく びいなす」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	10月 予定	ライジングサンフェスティバル(沼津市 沼津港)
6月14日(金)	客船「ばしふいっく びいなす」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)	11月3日(日・祝)・11月4日(月・祝)	客船「バイキング・オリオン」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
6月30日(日)	【海開き】静波海水浴場(牧之原市 静波海岸 榛原港)	11月7日(木)	客船「セブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月1日(月)	【海開き】さからサンビーチ (牧之原市 さからサンビーチ 相良港)	11月10日(日)	客船「セブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月上旬	御前崎海水浴場海開き(御前崎市 マリンパーク御前崎)	11月中旬	田子の浦ボートフェスタ2019(富士市 田子の浦港)
7月13日(土)～8月4日(日)	海フェスタしずおか(静岡市 清水港) ※7/13開会式、8/4閉会式	11月20日(水)	客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月14日(日)	マリンスポーツフェスタ(御前崎市、牧之原市 御前崎マリーナ)	11月24日(日)	客船「セブリティ・ミレニアム」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月14日(日)	踊夏祭・トライアスロン大会(焼津市 大井川港)	11月 予定	千本浜ファミリーマラソン大会(沼津市 千本浜)
7月14日(日)	田子浦みなと祭り(富士市 ふじのくに田子の浦みなと公園)	11月 予定	第9回 御前崎マリンパークマラソン (御前崎市 マリンパーク御前崎)
7月中旬	国際カジキ釣り大会(下田沖)	12月8日(日)・12月15日(日)	忘年熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)
7月中旬	マリンフェスタ(下田市内)	12月14日(土)	客船「ダイヤモンド・プリンセス」寄港(静岡市 清水港 日の出埠頭)
7月中旬	白浜海の祭典・花火大会(下田市 白浜大浜海岸)	12月22日(日)	とっておき冬花火大会(伊東市 伊東海岸)
7月19日(金)	田子の浦港海上安全祈願(富士市 田子の浦港)	2020年1月1日(水・祝)	静波海岸・さからサンビーチ初日の出 (牧之原市 榛原港・相良港)
7月21日(日)	網代ベイフェスティバル(熱海市 網代港)	2020年1月1日(水・祝)	初日なぶらイベント(御前崎市 観光物産会館)
7月24日(水)	堂ヶ島火祭り(西伊豆町 堂ヶ島公園)	2020年1月1日(水・祝) 予定	千本浜元旦水泳大会(沼津市 千本浜)
7月26日(金)	静波海水まつり花火大会(牧之原市 静波海岸 榛原港)	2020年1月中旬	第54回伊東オレンジビーチマラソン2020(伊東市 伊東海岸)
7月26日(金)・7月30日(火)・ 8月5日(月)・8月8日(木)・8月18日(日)・ 8月23日(金)・8月30日(金)	夏季熱海海上花火大会(熱海市 熱海湾)	2020年1月下旬	伊東温泉めっちゃちゃ (伊東市 松川藤の広場・川口公園)

## 編集後記 |

平成30年度の県外視察では、港湾視察に加え震災遺構「仙台市立荒浜小学校」を訪れました。屋上に上がると映像で観た状況が思い浮かび、津波の恐さを実感するとともに避難された方々がどんな思いで見つめていたのかと考えると胸が痛くなりました。震災を伝える貴重な場所を残してくれたことに感謝したいと思います。

今年が皆様にとって良い年になるようお祈り申し上げます。(K.H.)

当会では、会報誌面充実のため皆様からの港に関する情報やニュース・寄稿をお待ちしています。

関係団体の活動、イベントPRなど…どんな些細な事でも構いません。詳しくは下記連絡先までご連絡ください。

編集・発行

静岡県港湾振興会

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県交通基盤部港湾局内  
TEL.054-221-3052 FAX.054-221-2389 E-mail:shizu.kouwan@gmail.com